水源地域との交流事業実施レポート

200海里の森づくり

令和５年９月２日（土）に、筑後川上流水源地域である日田市中津江村を訪ね、大川市や地元中津江村の皆さんと、森林の手入れ（下草刈り）や昼食交流会を行う交流イベントを実施しました！

中津江村ってどんなところ？

中津江村は周囲を山に囲まれ、自然豊かな村です。2002年に開催されたサッカー日韓ワールドカップの際、カメルーン代表のキャンプ地となったことは、全国で有名になりました。実際にカメルーン代表が使ったグラウンドがある鯛生スポーツセンターや、砂金採り体験などができる鯛生金山などのレジャースポットもあり、また、中津江村の豊かな自然が育てた四季折々の農産物は、とても美味しく新鮮です。

そんな中津江村を流れる津江川・鯛生川は下流の筑後川に流れ込み、筑後川から多くの水をいただいている福岡市にとっては、大切な水源地の一つです。

今回は、筑後川の下流に位置する大川市の皆さんや、中津江村の皆さんと一緒に、中津江村の豊かな森林（水源林）を守るため、下草刈り作業を行いました。

下筌ダムは、津江川に洪水調整・発電を行う多目的ダムとして建設され、昭和48年に完成した、アーチ式コンクリートダムです。ダム湖名は「蜂の巣湖」。

←写真（上：放流中の下筌ダム、下：蜂の巣湖）

下草刈りって何？

植えたばかりの小さな樹木は、雑草などに覆われると十分な太陽の光を浴びることができず生長不良になり、ついには枯れてしまいます。そこで、樹木が健康に育つよう、周囲の雑草を刈り取ります。この作業を「下草刈り」といい、植え付けから５年～１０年程度行う必要があります。

【スケジュール】水道局発 → 下草刈り作業 → 昼食交流会 →「鯛生金山」でお買い物・ゴールドハンティング → 水道局着・解散

★下草刈りのようす★

当日は、暑いなかでの作業となりましたが、みなさん自分の背より伸びた雑草をどんどん刈っていきます。
あっという間に時間は過ぎ、参加者の中には「もっと草刈りをしたかった！」という方もいらっしゃいました。

★昼食交流会のようす★

昼食交流会の会場は、鯛生スポーツセンターの雨天練習場でした。BBQを食べながら、午前中の草刈りの感想や、各地元の話で盛り上がりました！

～参加者の方からのご感想～

- 今まで草刈りをする機会がなかったため、いい経験になった。また参加したい。
- 他都市の方とBBQしながらの交流はなかなか機会がないので楽しかったです。
- 裏でいろんな人の努力があって、安全な水が供給されていることが知れてよかったです。

以上、実施レポートでした！